



2



3

杉浦正美展

幻想と創造の世界

田原の美術

田原市博物館／渥美郷土資料館 平成22年 春の企画展



1

2010年 5月15日(土)ー7月4日(日)

※5月15日(土)の一般公開は開会式終了後の午前11時30分からとなります。

会場 ■ 田原市博物館、渥美郷土資料館

休館日 ■ 毎週月曜日

開館時間 ■ 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 ■ 一般400円(320円) 小・中学生以下 無料
()内は20名以上の団体割引料金 ※渥美郷土資料館は無料

関連行事 ギャラリートーク (会場◎田原市博物館)

5月22日(土)、6月12日(土) 午前11時ー

作家本人による展示説明。

※ギャラリートークに参加希望の方は観覧料が必要となります。

同時開催 「愛知県美術館サテライト展示 所蔵作品による 北川民次展」

会場◎田原市博物館 企画展示室2

杉浦正美の師匠である北川民次の作品を同時展示。杉浦とのかかわりを示す資料(北川民次からいただいた彫刻刀や陶画など)も展示。

「創建200年田原藩校成章館関係資料」

会場◎田原市博物館 特別展示室

重要文化財「孔門十哲像」などを展示。

1 ー 良き日々/平成5年(1993)/第78回二科展

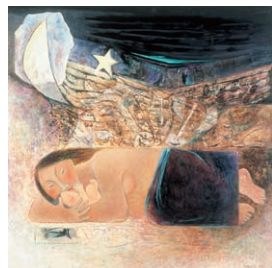
2 ー 鳥の月/昭和62年(1987)/第72回二科展 会員努力賞

3 ー 鬼のあかちゃん/昭和61年(1986)/第71回二科展

杉浦正美は、昭和元(1926)年豊橋市に生まれ、昭和5年、5歳の時に母を亡くしました。昭和9年、家庭の事情により祖母のいる福江町折立(現在の田原市折立町)の叔父の家で、弟と祖母とともに貧しくも心休まる幸せな日々を過ごし、その後、名古屋市に転居しました。

昭和27年、北川民次、安藤幹衛に師事し、工場労働者を描き二科展に初入選した後は、広告デザインと抽象絵画を描き、二科展を中心に様々な展覧会に出品を続けるほか、個展を数多く開催しています。昭和36年の二科展で特選を受賞、同38年には、二科会会友。昭和50年頃からは、メキシコや東南アジア・欧州・中近東などの取材をもとにメキシコ絵画の影響を受けた土俗的な作品を手がけるようになり、昭和54年の中日展で佳作賞、翌年の二科展にて会員、さらにその翌年には二科展審査員となりました。昭和61年からは、母子像や寓話と神話をイメージした作品を多く発表し、それら作品の制作背景には、渥美時代に深く心に刻まれた様々な体験がモチーフとなっています。平成3(1991)年から風景の会へも出品。平成8年には二科会評議員、現在は二科会監事。平成20年には、その初期作から最新作までの絵画60点が田原市へ寄贈されました。

今回の企画展では、杉浦正美の心のふるさとといえる渥美半島への想いの込められた作品の数々を展示紹介しながら、その画業を振り返るとともに、彼の作品世界を堪能していただこうと開催します。



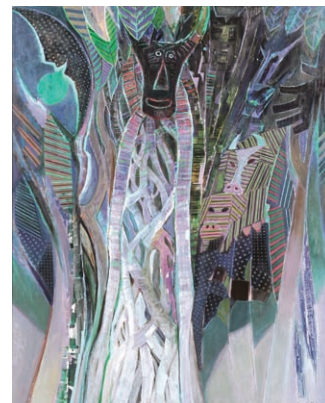
雑草のマリア/昭和60年(1985)
第70回二科展/個人蔵



火工/昭和36年(1961)/第46回二科展 特選



母の海/平成18年(2006)
第91回二科展



原初的な森/平成22年(2010)
第60回記念中部二科展/作者蔵

田原市博物館

☎22局1720

http://www.taharamuseum.gr.jp

渥美郷土資料館

☎33局1127